

## クールジャパン拠点構築検討会（第3回）議事要旨

事務局より、本検討会の「中間とりまとめ（案）」について説明後、意見交換を実施。主な意見は以下のとおり。

- 拠点における情報発信にあたっては、単なるコンテンツの集積では、来訪者に対してバラバラな印象を与えてしまうだけであるため、発信する情報の背後に一貫した大きなビジョンを設定することが重要。
- 拠点の来訪者に対して日本の多面的な魅力を伝えるためには、例えば、日本のハイカルチャーとポップカルチャーのそれぞれに興味を持つ外国人に対し、それらが有機的に連携した姿を提示することが重要。
- 拠点は、インバウンドの入口としてだけでなく、出口としても有効に機能し得るものであるため、訪日外国人旅行者が帰国時に拠点へ寄った際、リピーター化につながるような情報を発信することが重要。
- 拠点に関する情報を拡散するためには、口コミやSNSのみならず、メディアを効果的に活用することが重要。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の際には、多くのメディア関係者が来日することが予想されるため、彼らに拠点を訪問してもらえるような方策を検討すべき。
- コンテンツ分野を研究する学者等のネットワーク強化を図るためには、国内拠点において、海外の研究者等が滞在できる施設を設けるとともに、国際会議等を開催することにより、海外から日本国内に向けて人材の流れを作ることが重要。